



12月の活動報告 テーマ:永遠のスカウト

5日(日)班集会



毎年恒例の大絵馬奉納式が神殿にて行われ、大絵馬を運び参道に掲げました。大絵馬には「千里の道も一歩から」と書かれています。どんな大事業も手近なところから始まることのとえですが、2022年は目標に向かっての一歩を大切にしたいものです。その後は反会議を行い今年の反省と来年度の活動に取り入れたいことを話し合いました。



19日(日)団集会

誰も写真を撮っていないで申し訳ありません。

昨年のお楽しみ会はコロナの影響で中止になりましたが、今年は感染予防対策をしてボーリングのみの開催となりました。表彰式は新年集会でされる予定です。


1月の活動予定 テーマ:光の路

9日(日)団集会「新年集会」

集合：9：30
時間：10：00～12：00
場所：総社神社
内容：新年会・お茶会
携行品：スカウトセット
解散：12：00（スカウトハウス前）

16日(日)班集会 冬のDayキャンプ

集合：9：45
時間：10：00～14：00
場所：スカウトハウス
内容：野外炊事
携行品：スカウトセット
解散：14：00頃



※集会欠席の場合は、
本人が直接副長に連絡すること。
副長連絡先：090-7666-3131
HZH00250@nify.ne.jp

スカウトの豆知識 ～モールス信号～

モールス符号は、アメリカのサミュエル・モールスという人が考案し、1837年に電磁石を使った「モールス電信機」を発明しました。モールス符号は、日本では「トン・ツー」とも呼ばれます。モールス信号は、短い符号と長い符号だけで文字や数字を表します。
例えば、遭難信号の「SOS」は、「・・・ --- ・・・」（トトツーツーツートト）と表します。
「SOS」を世界で初めて発信したのは、1909年（明治42年）6月10日に、ポルトガル沖のアゾレス諸島での難破で遭難したイギリスの「スラボニア号」で、この時に世界で初めてモールス信号の遭難信号「SOS」が、遭難を知らせ救助を要請する信号として発信されたとする説があります。

保護者の皆様へ

保護者の皆様におかれましては、日頃よりボーイ隊の活動へのご理解とご協力に心より感謝いたしております。秋田県内の新型コロナウイルス感染拡大により8月下旬より県内のスカウト活動を自粛しておりましたが、感染者が減少傾向にあり、県連盟より自粛解除の通達があり、わがボーイ隊でも活動を再開することいたしました。今後も感染予防対策を充分に行い活動していけるよう努めて参りたいと思っております。
また、下山隊長は体調を崩しており当分の間、石黒副長・角田副長・佐藤副団員長を中心に活動していくこととなります。スカウト及び保護者の皆様には大変申し訳ありませんが、何卒ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

角田 政晃